

週に1度は、総合体育館で90分のトレーニングをする。頭も体も貪欲にトレーニングに励む。1日が48時間欲しいという彼に、休む暇はない。

努力は裏切らない—

中山直樹さん（大津）

先日、大津町選挙管理委員会は、初めての試みとして期日前投票の立会人を募集した。そして応募者の中に、弱冠二十歳の中山直樹さんがいた。募集を知り応募に至るまでのその積極的な行動は、彼の貪欲な向上心が関係していた。

「僕は『負けず嫌い』なんです」直樹さんは笑顔で話し始めた。小学校からスポーツが好きだった。バスケット、サッカー、剣道など体を動かすことは何でもチャレンジしてきた。中学校で野球と出会い、大学まで続けた。負けず嫌いな性格は努力することの大切さを知った。しかし彼はそれだけでは満足していなかった。「勉強も両立させようと思ったんです」と話す彼からおごりは感じられない。貪欲に自分の糧を増やしていくことが彼の純粋な願いだった。朝4時から勉強を始め、6時30分には野球のために登校。学問とスポーツを両立するために努力した。しかし両立できたのは両親のおかげだと今でも感謝している。

大学では教育学部に在籍し、地域教育や社会教育を学んでいる。教師になることが夢だったが、学校教育よりも生涯学習に興味を持ち始め、公務員を目指そうとしているという。

選挙の立会人になったのも貪欲な性格がなせる技だ。立会人をしたことで「政治について普段から情報を得ていないといけない思った」と話す。立会人の経験がまた糧を増やす。負けず嫌いだから貪欲になっているのではなく、貪欲だから負けず嫌いなのだろう。彼がこれまでに得たものをどう生かしていくのが楽しみだ。

つじの声

▼困難な状況に陥った時に人々はいつも前に進んできました。それはまるで困難な状況があったからこそ、前に進めたかのように—▼目の前に立ちちはだかる壁を乗り越えようとあきらめないことは、壁を乗り越える力になるだけでなく、人を成長させることにつながるのではないのでしょうか。本日は、壁ができること、作られること自体が問題なのですが、そういう意味では壁も必要なのではないでしょうか▼「今私にできること」。多くの人が考えていることです。今、私が思うのは「自分にとって大切なことをやっていたら良い」ということ。すべての人がその気持ちで—▼東日本大震災から1カ月。東北は、日本は、前に進んでいきます。私も前に進みます。（辻口）

広報おおづ 2011 5

発行：編集■大津町・企画課
〒869-11292 熊本県菊池郡大津町大字大津 1233 番地
TEL.096(293)3111

ホームページURL
<http://www.town.ozu.kumamoto.jp/>

2010

印刷■カーブ印刷株式会社
※この広報誌は環境に配慮して再生紙および大豆インクを使用しています。

5
MAY 2011

大津のことがもっと好きになる情報誌

広報
おおづ

今月のみどころ

特集

55年目の設計図

町政 55 年目の今年、大津町は何を見据えているのか？ 施政方針と予算をご紹介します

人事異動

役場の異動状況はこれで一目瞭然。教職員や消防団、新規採用職員の紹介も

クローズアップ大津人

中山直樹さん